

様

令和6年5月 日

特定非営利活動法人 日本緑化工協会
理事長 中野 裕 司



第44回緑化工技術講習会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本協会主催の緑化工技術講習会は、昭和54年の第1回開催以来、回を重ねるたびにご好評を得、お陰をもちまして本年は第44回をむかえ、別記のとおり開催する運びとなりました。

近年、斜面・法面緑化に対しては、緑化工技術・工法の適正な適用のみならず、生物多様性国家戦略、外来生物法などに示されますように、自然回復・生物多様性保全にまで配慮した緑化が求められております。しかし、これらはお天気次第という側面を持つもので、確実性の低いものとならざるを得なく、緑化成績不良地の増加が問題となっております。

また、一方では増加する豪雨・地震・火山災害などに対する配慮も求められ、生物多様性保全と斜面・法面の保護・侵食防止のバランスを如何にとるかにについて問題となってきております。このような昨今の斜面・法面緑化を取り巻く状況の変化に対応すべく、緑化工にご造詣の深い諸先生に講師をお願いし、緑化工を中心とした法面保護に関する講習を行います。

今回は、「法面の植生管理について」、ならびに「一般地における生物多様性保全に配慮した緑化のあり方」の二つの特集を組んで実施いたします。

土木構造物は100年対応を目指した検討に入っており、100年対応を踏まえとの法面緑化のあり方、植生管理についての考え方に關する講習を行います。また、自然公園など生物多様性保全に配慮した法面緑化を行うべき箇所については環境省が「自然公園法面緑化指針」示し方向性が明確にされております。この他のいわゆる「一般地法面」に対しては、市場単価による積算のまま、生物多様性保全を図る上では用いてはならない亜種レベルで遺伝がこととなり、地域自生植物と交雑し遺伝子汚染を発生させてしまう(外国産)在来植物を用いることが常態化しております。これにより生物多様性保全という理念と現場のあり方の乖離が発生しております。この点について鑑み一般地法面に対する生物多様性保全に配慮した法面緑化のあり方についての講習を行います。

時節柄ご多用のこととは存じますが、お誘い合わせの上、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。 敬具

第44回 緑化工技術講習会 案内

- 主催 特定非営利活動法人 日本緑化工協会
〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206
FAX:03-5660-1664
E-mail : info@ryokkakou.jp 予備メール: ryokkakou@gmail.com
URL: http://www.ryokkakou.jp
- 後援 (予定)
日本緑化工協会
財団法人 日本緑化センター
社団法人 全国特定法面保護協会
NPO 法人 日本環境土木工業会
- 開催日時 令和6年7月22日(月)13時00分～18時00分 (受付開始12時30分)
令和5年7月23日(火)9時30分～15時00分 (15:15～17:00 任意参加)

4. 会場

東京農業大学世田谷キャンパス 131 教室

・住所
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1丁目1-1
・アクセス
小田急線経堂駅 徒歩約15分
小田急線千歳船橋駅 徒歩15分
バス 約5分 (千歳船橋駅～農大前)
東急バス 渋谷行(渋23)
等々力操車場行(等11)
用賀行(用01)

東京農業大学世田谷キャンパス
交通案内(交通アクセス)
<https://www.nodai.ac.jp/campus/map/setagaya/>



5. 緑化工技術講習会 内容 (演題・講師、講演内容)

演題	タイトル(仮)/講師	講演内容(仮)
7/22(月)		
1日目① 13:00 ～14:30 (特集1)	法面の植生管理におけるパイアスについて 日本緑化工協会副会長 東日本高速道路(株)関東支社 緑化専任役 葉瀬知史	斜面災害の多くが周辺を含めた樹木の伐採に起因している人災である可能性が高い。近年の管理では、過度な安全安心と事故が重なって「樹木は伐る」が当たり前で「植生法面は基本的に放置する」という思想やその意味が忘れられている。伐採数年後に、これに起因する小規模崩壊が起こるため気づきにくいことや、長年安定している植生法面では、水、土、木の絶妙な関係によって斜面が安定していることを忘れ、「土」だけが安定に寄与していると錯覚していることもあげられる。 土工と緑化の狭間にある緑の斜面の防災的な役割について解説いただく。
1日目② 14:40 ～16:10 (特集1)	積雪寒冷地における草本植物を用いた法面保全効果と植生管理 - 根系を含む土供試体の強度定数(c・φ)を指標として - 帯広畜産大学環境農学研究部門農学環境工学分野 教授 宗岡寿美	植生工による法面浸食防止効果に関する指標としての草高、植被率と根系を含む土層の剪断特性から見た法面保全効果及び、これらの知見から得られた持続的に法面保護効果を発揮し続けるための植生管理の考え方について解説いただく。
1日目③ 16:20 ～17:50 (特集1.2.)	六甲山地等における斜面植生管理及び堤防法面における生物多様性保全に配慮した植生管理について 兵庫県立大学名誉教授 服部 保	六甲山地等における防災・減災及び生物多様性保全上望ましい斜面植生の育成と河川堤防法面における法面保全、景観上望ましいチガヤ群落の育成、管理、植生学の観点から防災・減災、生物多様性保全上望ましい斜面管理を解説いただく。
1日目1	18:10～ 懇親会(任意参加)	(別途申込み)
7/23(火)		
2日目① 9:30 ～11:00 (特集2)	緑化工基盤としての法面の安定について 応用地質(株) 社友 上野将司	地質面から法面表層の長期安定に関する問題について、法面排水工などの水処理や植生管理などの観点を加え解説いただく。
2日目② 11:10 ～12:40 (特集1)	法面における生物多様性に配慮した緑化の実際的な取り組み方について 東京農業大学地球環境科学部 森林総合科学科 森林環境工学分野 教授 橋隆一	法面緑化に求められる急速緑化による浸食防止と生物多様性保全に配慮した緑化について、法面の立地条件、緑化目的・目標に応じた使い分けなど、現状に即した取り組み方について解説いただく。
2日目③ 13:30 ～15:00 (特集1.2.他)	一般地における生物多様性保全に配慮した緑化のあり方について (特非)日本緑化工協会理事長 ・技術委員長 中野裕司	生物多様性保全に配慮した法面緑化が求められ20年近く経過した。しかし、未だにそのルールが未整備のままであり、具体的にとり組むことが出来る状態となっていない。このため、国・県発注者に対し最も法面緑化面積の大きな「一般地に対する生物多様性保全に配慮した緑化の現状、あり方」に対するアンケート調査を行い、会員に対しては施工事例を募集し、現実即した取り組みについての整理を行い、ルール化に向けての議論の契機とする。
15:10～ 17:00 有志参加	技術情報交流会「一般地における生物多様性保全に配慮した法面緑化のあり方」など法面緑化に関する総合討論	一般地法面に対する生物多様性保全のあり方についてなど、今後重要となる法面植生管理なども踏まえ、実践的な取り組み方について総合的に討論する。 パネラー：橋、中野、他 司会：田中賢治(特非)日本緑化工協会専務理事、国土防災技術(株)

注) 講師、演題、時間など、講師の都合により変更することもあります。詳しくは、協会HPをご確認ください。

6. 参加申込

参加ご希望の方は、参加申込書に参加者の氏名・勤務先などをご記入の上、FAX、またはE-mailでご送信ください（申込用紙は、次ページ）。

＜申し込み記載事項＞

- 勤務先名、所在地
- 電話/FAX 番号
- 参加者氏名
- 参加者 E-mail アドレス
(講習会の連絡・案内などに用います。この他の用途に利用しません。)

7. 申し込み期限

申込締切日時：令和6年7月18日(木)

先着200名様で切とさせていただきます(300人教室を有します)。
締切が過ぎた場合でも、キャンセルなど席に空きがある場合は対応いたします。
(FAX・E-mailでお問い合わせください)

8. 参加料

1名につき、20,000円 (会員 10,000円)

参加料は、下記銀行口座へお振り込み下さい。恐れ入りますが、振り込み料金をご負担ください。また、振込を行った後、氏名等をE-mailなどでお知らせ下さい。

振込期日：令和6年7月19日(金)

＜振込先(銀行口座)＞

みずほ銀行 新川支店(店番号127)

普通預金

口座番号 1479168.

振込先口座名 ニホンリヨクカコウキョウカイ

＜領収書の発行など＞

領収書の発行：振込用紙をもって領収書に変えさせていただきます。
領収書などが必要な場合は、申込書にその旨御記載下さい。発行いたします。
予約確認書や参加券などの発送は行いません。ご了承ください。

＜講習会終了後の支払について＞

ご都合により、講習会終了後にお支払いの場合は、その旨、申込書にご記載下さい。

＜変更・取り消しについて＞

参加の変更・取り消しについては、FAX、E-mailにてお早めにお知らせください。

9. 見積書

見積書が必要な場合は、次ページの見積書をお使いください。

10. 講師などへの質問

講習内容に関する質問などを受け付けます。
下記 URL よりダウンロードの上、記載し FAX、メールにておながし下さい。
<http://www.ryokkakou.jp/pdf/44shitumon.docx>

11. 申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本緑化工協会 事務局

〒125-0042 東京都葛飾区金町 5-35-5-206

FAX：03-5660-1664

E-mail：info@ryokkakou.jp (予備メール) ryokkakou@gmail.com

※ 事務所に常駐しておりません。お問い合わせは、恐れ入りますが FAX・E-mail でお願いたします。

第44回 緑化工技術講習会 申込書

FAX：03-5660-1664

E-mail：info@ryokkakou.jp (予備メール) ryokkakou@gmail.com

申し込み日 令和6年 月 日

勤務先名		電話 FAX	
所在地	〒		協会からの お知らせ ※
氏名1		アドレス：	受け取る
氏名2		アドレス：	受け取る
氏名3		アドレス：	受け取る
氏名4		アドレス：	受け取る
氏名5		アドレス：	受け取る
連絡先 代表者氏名		アドレス：	受け取る
連絡欄	その他要望・連絡事項 注) 民間の方には原則として、請求書、領収書の発行は行いません。ご了解ください。 官公庁の方で、請求書、領収書の発行が必要な場合は、宛名、明細などをお知らせください。		

※ E-mail アドレスは、第44回緑化工技術講習会の連絡、及び次回講習会案内などに用います。
今回の講習会の案内、緑化工に関するニュースを不定期に流させていただきます。
講習会の案内、ニュースを必要とされない方は、「受け取る」を横線にてお消しください。

見 積 書		令和 6 年 月 日	
様			
東京都葛飾区金町 5-35-5-206 特定非営利活動法人 日本緑化工協会 理事長 中野 裕 司			
下記のとおり御見積申し上げます。			
税込合計金額 ￥		円也	
品 名	数 量	単価(円)	金額(税込)(円)
緑化工技術講習会受講料			
合 計			
備 考			